



浜っこだより

浜原
隣保館

TEL: 75-0340

令和3年9月16日発行 ☆No.6☆



邑智中教職員・浜原隣保館職員合同研修会

「だって出会っちゃったんだモン！」
～『当事者』はどこにいるか～

【8月6日(金)】講師の太田明夫さん(ハンセン病問題を共に学び共に闘う全国市民の会)に、ハンセン病問題について講演をしていただきました。「当事者」を取材したDVDを見たり、その方の現在の話や、なぜ差別されたのか、家族訴訟についてなど約1時間半話をさせていただきました。



教養講座

～ ちろうて気づき ～

8月は先月と同じく、「性の多様性」についてです。数年前から「LGBT」という言葉が出始め、性の多様性が少しずつ叫ばれるようになりました。「LGBT」とは、レズビアン(女性の同性愛者)、ゲイ(男性の同性愛者)、バイセクシャル(両性愛者)、トランスジェンダー(身体と心の性別に違和感のある人)の頭文字をとって組み合わせたものです。人口に占める割合が少ないことから、「性的マイノリティ(性的少数者)」といわれます。今回は、各メディアで活躍中の“はるな愛”さんの新聞記事を読みました。「今回のオリンピックには、トランスジェンダーをカミングアウトされた方も参加され、今の社会はそれを認めていく傾向にあると思います。」などの意見が出ました。

【押し絵教室】



【健康サークル】



お茶女の会(人権学習)

【8月24日(火)】「ハンセン病問題を知る」というDVDを見て、ハンセン病の元患者が受けた苦しみや、その家族に向けられた偏見、差別について学びました。参加された方から、「『無知こそ、差別のはじまり』を実感しました。コロナにしても、正しいことを知ることが大切だと思いました。」「小さい頃、らい病はうつる病気であると教えられていました。今日の研修で、ハンセン病について間違った知識をもっていることがわかりました。」「ハンセン病問題やその差別について、あらためて知ることが多かったです。」などの感想がありました。



相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。
隣保館での相談内容は『外部にもれることなく、料金もかかりません』
お気軽にご相談ください。

予告 「人権・同和問題学習会」

日時: 10月19日(火) 10:00~11:30

場所: 浜原隣保館(多目的ホール)

演題: 「無知や差別って」 なあに?

講師: 佐々木一俊さん・佐々木幸子さん

※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。
詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。

いろは倶楽部

10月27日(水)
13:30~15:30

脳トレ

ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽

□腔体操

楽しい早口言葉

- 京(きょう)の生鱈(なまだら)
奈良(なら)生まな鯉(かつお)
生米生麦生卵(なまごめなまむぎなまたまご)
- 生ナマズ 生ナマコ 生なめこ

10月の予定

- 12(火) 楽しいちぎり絵教室
- 13(水) 押し絵教室
- 19(火) 人権・同和問題学習会
- 22(金) 古文書教室
- 25(月) 俳句教室
- 26(火) 邑智小6年生「竹細工学習」
- 27(水) いろは倶楽部

